

JIS

ヘキサロビュラ穴付きタッピンねじ

JIS B 1128 : 2004

(JFRI/JSA)

平成 16 年 3 月 20 日 制定

日本工業標準調査会 審議

(日本規格協会 発行)

日本工業標準調査会標準部会 機械要素技術専門委員会 構成表

	氏名	所属
(委員長)	大 園 成 夫	東京電機大学
(委員)	土 屋 孝 夫	社団法人自動車技術会
	川 口 俊 充	日本工具工業会
	黒 澤 富 蔵	独立行政法人産業技術総合研究所
	桑 田 浩 志	有限会社桑田設計標準化研究所
	望 月 正 紀	社団法人日本ねじ工業協会
	岡 野 正 敏	社団法人日本パルプ工業会
	小 林 正 彦	社団法人日本工作機械工業会
	前 田 次 啓	社団法人日本ばね工業会
	石 川 雄 一	独立行政法人産業技術総合研究所
	平 田 幸 雄	社団法人日本ベアリング工業会
	丸 山 一 男	工学院大学

主 務 大 臣：経済産業大臣 制定：平成 16.3.20

官 報 公 示：平成 16.3.22

原 案 作 成 者：日本ねじ研究協会

(〒105-0011 東京都港区芝公園 3 丁目 5-8 機械振興会館 TEL 03-3436-4988)

財団法人日本規格協会

(〒107-8440 東京都港区赤坂 4 丁目 1-24 TEL 03-5770-1573)

審 議 部 会：日本工業標準調査会 標準部会 (部会長 二瓶 好正)

審議専門委員会：機械要素技術専門委員会 (委員長 大園 成夫)

この規格についての意見又は質問は、上記原案作成者又は経済産業省産業技術環境局 標準課産業基盤標準化推進室 (〒100-8901 東京都千代田区霞が関 1 丁目 3-1) にご連絡ください。

なお、日本工業規格は、工業標準化法第 15 条の規定によって、少なくとも 5 年を経過する日までに日本工業標準調査会の審議に付され、速やかに、確認、改正又は廃止されます。

ヘキサロビュラ穴付きタッピンねじ

正 誤 票

区分	位 置	誤	正
本体	付表 1.1 <i>r</i> の欄	最大	最小

平成 20 年 9 月 1 日作成

白 紙

まえがき

この規格は、工業標準化法第 12 条第 1 項の規定に基づき、日本ねじ研究協会(JFRI)／財団法人日本規格協会(JSA)から、工業標準原案を具して日本工業規格を制定すべきとの申出があり、日本工業標準調査会の審議を経て、経済産業大臣が制定した日本工業規格である。

制定に当たっては、日本工業規格と国際規格との対比、国際規格に一致した日本工業規格の作成及び日本工業規格を基礎にした国際規格原案の提案を容易にするために、**ISO 14585:2001**, Hexalobular socket pan head tapping screws, **ISO 14586:2001**, Hexalobular socket countersunk head tapping screws 及び **ISO 14587:2001**, Hexalobular socket raised countersunk (oval) head tapping screws を基礎として用いた。

この規格の一部が、技術的性質をもつ特許権、出願公開後の特許出願、実用新案権、又は出願公開後の実用新案登録出願に抵触する可能性があることに注意を喚起する。経済産業大臣及び日本工業標準調査会は、このような技術的性質をもつ特許権、出願公開後の特許出願、実用新案権、又は出願公開後の実用新案登録出願にかかわる確認について、責任はもたない。

JIS B 1128 には、次に示す附属書がある。

附属書（参考）JIS と対応する国際規格との対比表

目 次

	ページ
序文	1
1. 適用範囲	1
2. 引用規格	1
3. 種類	2
4. 形状・寸法，製品仕様及び製品の呼び方	2
附属書（参考）JIS に対応する国際規格との対比表	12
解 説	14

ヘキサロビュラ穴付きタッピンねじ

Hexalobular socket head tapping screws

序文 この規格は、2001 年に第 1 版として発行された ISO 14585:2001, Hexalobular socket pan head tapping screws, ISO 14586:2001, Hexalobular socket countersunk head tapping screws 及び ISO 14587:2001, Hexalobular socket raised countersunk (oval) head tapping screws を元に、対応する部分（形状・寸法、製品仕様及び製品の呼び方）についてこれを編集し、技術的内容を変更することなく一体化して作成した日本工業規格である。

なお、変更の一覧表をその説明を付けて**附属書（参考）**に示す。

1. 適用範囲 この規格は、ねじの呼び ST2.9～ST6.3 のヘキサロビュラ穴付きタッピンねじの特性について規定する。

この規格で規定する寸法及び製品仕様以外の要求がある場合には、それらの要求を例えば、JIS B 1007, JIS B 1021 及び JIS B 1055 から選択するのがよい。

備考 この規格の対応国際規格を、次に示す。

なお、対応の程度を表す記号は、ISO/IEC Guide 21 に基づき、IDT（一致している）、MOD（修正している）、NEQ（同等でない）とする。

ISO 14585:2001, Hexalobular socket pan head tapping screws (MOD)

ISO 14586:2001, Hexalobular socket countersunk head tapping screws (MOD)

ISO 14587:2001, Hexalobular socket raised countersunk (oval) head tapping screws (MOD)

2. 引用規格 次に掲げる規格は、この規格に引用されることによって、この規格の規定の一部を構成する。これらの引用規格は、その最新版（追補を含む。）を適用する。

JIS B 0143 ねじ部品各部の寸法の呼び及び記号

備考 ISO 225:1983 Fasteners—Bolts, screws studs and nuts—Symbols and designations of dimensions からの引用事項は、この規格の該当事項と同等である。

JIS B 1007 タッピンねじのねじ部

備考 ISO 1478:1999 Tapping screws thread が、この規格と一致している。

JIS B 1013 皿頭ねじ—頭部の形状及びゲージによる検査

備考 ISO 7721:1983 Countersunk head screws—Head configuration and gauging が、この規格と一致している。

JIS B 1015 おねじ部品用ヘキサロビュラ穴

備考 ISO 10664:1999 Hexalobular internal driving feature for bolts and screws が、この規格と一致している。